

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	有形文化財	担当部局庁	文化庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和54年度	担当課室	美術学芸課 記念物課 参事官(建造物担当)	美術学芸課長 栗原祐司 記念物課長 矢野和彦 参事官(建造物担当) 村田健一			
会計区分	一般会計	施策名	XII-2 文化財の保存及び活用の充実				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化財保護法 第1条	関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定) 文化審議会文化財分科会企画調査会報告書(平成19年10月)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建造物群に関する選定保存検討 <ul style="list-style-type: none"> → 伝統的建造物群の保護行政に携わる者等を対象として、職務遂行に必要な基礎的事項に関する研修を行い、もって文化財保護行政の向上に資するとともに、広報資料を作製、配布し、広く制度の普及を図る。 ・文化財建造物の登録の促進 <ul style="list-style-type: none"> → 文化財建造物の登録の促進を図るため、文化財登録制度の啓発・普及広報、登録候補物件の調査、登録プレートの発行を行う。 ・近代文化遺産保護検討等 <ul style="list-style-type: none"> → 近代の歴史資料に関する所在・実態を把握するための調査を実施する。 ・天然記念物保護体制等の充実に関する調査研究 <ul style="list-style-type: none"> (1)天然記念物保護に関する調査研究 <ul style="list-style-type: none"> → 地域を特定せず種による指定を行っている天然記念物は、近年、開発の影響等で生息地周辺の環境変化が著しく、その保存が困難となってきたため、これら天然記念物における地域指定のあり方や保護体制等について調査研究を行う。 (2)カモシカ生息・生態等調査 <ul style="list-style-type: none"> → 地域を特定せず種による指定を行っている天然記念物の中で、特別天然記念物カモシカについては、恒久的な安定的維持繁殖を図るための保護地域の設定作業をこれまでに進めてきており、これら保護地域における適切なカモシカの保護管理を期するための基礎資料を得る目的で、カモシカの生息状況や生息環境等に関して実施した通常調査結果や滅失届等の資料について、集計・分析を行う。 ・埋蔵文化財保存・活用等 <ul style="list-style-type: none"> → 埋蔵文化財を適切に保存し、積極的に公開活用を進めていくため、保存活用に関する調査研究を行い、発掘調査に関する手引きや公開活用に関する資料等を作成し普及啓発を図るとともに、埋蔵文化財担当者講習会を開催し担当者の資質向上を図る。 ・名勝に関する総合調査事業(平成23年度から実施) <ul style="list-style-type: none"> → 全国に所在する未指定の名勝地のうち、自然的な名勝地と近代以前の人文的な名勝地(庭園・公園等)について所在状況調査を実施する。 						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	93	70	56	84	155
		補正予算	0	△1	△1	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	93	69	55	84	155	
	執行額	73	70	41			
執行率(%)	78.5%	101.4%	74.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業は、我が国がこれまでに培ってきた貴重な文化遺産を後世に継承するため、必要な作業・調査を実施するものであり、事業の成果を定量的尺度で評価することは難しく、成果目標を設定することは困難である。	成果実績		—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本事業は文化財保護法等により定められた事務処理等を行っているため、活動指標を定めることは困難である。	活動実績(当初見込み)		93百万円	69百万円	41百万円 (55百万円)	— ()
単位当たりコスト	— (円/)	算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	6	7	「産業遺産保存整備調査事業」の新規要求による増など			
	埋蔵文化財報償金	1	1				
	職員旅費	5	9				
	委員等旅費	15	15				
	庁費	38	37				
	文化芸術振興委託費	20	87				
計	84	155	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>「伝統的建造物群に関する選定保存検討」や「文化財建造物の登録の促進」は、実施後直ちに成果が現れる性質の内容でないため、定量的尺度を用いての点検はなじまない。</p> <p>しかし、過去の取組が結実し、「重要伝統的建造物群保存地区」については年間5件程度、「登録有形文化財建造物」については年間500件程度登録が行われるなど着実に成果が上がっているところである。</p> <p>「近代文化遺産保護検討等」については、比較的歴史が浅く重要文化財等に指定し保存の措置を講ずることが困難な近代文化遺産を把握するための調査であり定量的尺度を用いる点検はなじまないが、現地調査等を実施することにより今後の保存・活用対策の策定に資するものである。</p> <p>「天然記念物保護体制等の充実に関する調査研究」のうち、カモシカ生息・生態等調査研究の実施にあたっては、一般競争入札を実施し、費用削減に努めるとともに、事業実施にあたって透明性を確保している。この事業実施により集計・分析されたカモシカのデータは、カモシカの適切な保護管理に活用されているものである。</p> <p>「埋蔵文化財保存・活用」は、発掘の手引き作成や、講習会を開催することで、埋蔵文化財担当者の意識改革、質の向上を図っている。人材育成の取組であることから定量的尺度での点検にはなじまないが、継続した事業の実施により、埋蔵文化財行政の向上に資するものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、有形文化財の各種普及・啓発及び調査等経費、埋蔵文化財の保存活用に関する調査研究事業などで構成されており、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は、長期継続事業であり、今後、予算執行の実績を的確に把握し、予算積算の適正化を図るとともに、「近代庭園・公園等の調査等に関する検討会」については、平成21年度から実施している検討会であり、一定の成果を得ているものと考えられることから廃止を含めて検討すべきである。</p> <p>なお、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>契約に当たっては、事業の目的及びその成果目標について十分な説明を行い、公募期間を見直す等により、競争への参加を促し、競争性、公平性、透明性の向上を図り、「近代庭園・公園等の調査等に関する検討会」については、当該事業の目的を達成したことから事業を廃止し、概算要求に(▲5百万円)反映した。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入

諸謝金	4百万円	} を含む
職員旅費	3百万円	
委員等旅費	11百万円	
庁費	10百万円	

文化庁
41百万円

「伝統的建造物群に関する選定保存検討」及び「埋蔵文化財保存・活用等」に係る支出は、上記費目に含まれており、一件1百万円以上のものはない。

文化財建造物の登録の促進

適切な調査、普及啓発活動等を実施し、登録有形文化財(建造物)の登録推進を図る。

【随意契約・請負】

A.
民間会社
全3機関
5百万円

登録有形文化財(建造物)の登録プレートを作成。

※庁費等執行分

【随意契約・請負】

B.
(株)インパルス
コーポレーション
1百万円

「歴史を活かしたまちづくりー重要伝統的建造物群保存地区の紹介ー」の印刷

※庁費等執行分

天然記念物保護体制等の充実に関する調査研究

種による指定を行っている天然記念物の地域指定のあり方や保護体制等について、調査研究を行うとともに、カモシカの生息状況や生息環境等に関して実施した通常調査結果や滅失届等の資料について、集計・分析を行う。

【一般競争入札・請負】

C.
(財)自然環境
研究センター
3百万円

カモシカの生息状況や生息環境等に関し各地方自治体で実施した通常調査結果や滅失届等の集計および解析を行う。

※庁費等執行分

埋蔵文化財保存・活用等

埋蔵文化財を適切に保存し、積極的に公開活用を進めていくため、保存活用に関する調査研究を行い、発掘調査に関する手引きや公開活用に関する資料等を作成し普及啓発を図るとともに、埋蔵文化財担当者講習会を開催し担当者の資質向上を図る。

【随意契約・請負】

D.
(独)国立文化財機構
奈良文化財研究所
1百万円

「発掘調査のてびき」作成業務

※庁費等執行分

【支出委任】

E.
都道府県(全2県)
2百万円

埋蔵文化財担当職員等講習会の開催

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)コトブキ			E.埼玉県		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	登録有形文化財(建造物)登録プレート の作成	2	賃借料	会場、バス借上料	0.4
			印刷製本費	資料印刷	0.2
			旅費	委員等旅費	0.2
			消耗品費	消耗品一式	0.1
			役務費	ホールオペレーター	0.1
計		2	計		1
B.(株)インパルスコーポレーション			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	「歴史を活かしたまちづくりー重要伝統的建造物 群保存地区の紹介ー」の印刷	1			
計		1	計		0
C.財団法人自然環境研究センター			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	データ集計及び分析等件費、委託 費	3			
計		3	計		0
D.(独)国立文化財機構奈良文化財研究所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	「発掘調査のてびき」作成	1			
計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)コトブキ	登録有形文化財(建造物)登録プレートの作成	2	随意契約	100%
2	(株)コトブキ	登録有形文化財(建造物)登録プレートの作成	2	随意契約	100%
3	(株)コトブキ	登録有形文化財(建造物)登録プレートの作成	1	随意契約	100%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)インパルスコーポレーション	「歴史を活かしたまちづくりー重要伝統的建造物群保存地区の紹介ー」の印刷	1	随意契約	100%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	カモシカに関し実施した通常調査結果や滅失届等の資料の集計・分析	3	1	100%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立文化財機構 奈良国立博物館	「発掘調査のてびき」作成	1	随意契約	100%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	埼玉県	埋蔵文化財担当職員等講習会の開催	1	—	—
2	香川県	埋蔵文化財担当職員等講習会の開催	1	—	—

※ 支出委任であるため「入札者数」・「落札率」には「—」を記載